

9-2		主題	調理職員という役割からの地域貢献と施設内連携	
厨房から地域へ		副題	「食」のつながりから、「総合相談」への橋渡し	
研究期間	15ヶ月	事業所	武蔵野市桜堤ケアハウス	
発表者：調理師 井口大也（いぐちだいや）		アドバイザー：施設長 阿部 敏哉		
共同研究者：栄養士 五十嵐敬子、調理師 小川託矢・田中直子・松沢まさ子				
電話	0422-36-5122	メール	sakura-c@parkcity.ne.jp	
FAX	0422-36-6868	URL	http://fuku-musashino.or.jp/sakura/	

今回発表の事業所やサービスの紹介	武蔵野市の西部に位置する当施設は、平成8年に開設し、ケアハウス（定員30名）、デイサービス（定員25名）、在宅介護支援センターを併設しており、職員総数は30余名。朝食は30食、昼食は100食、夕食は30食を提供し、直営で調理を行っている。昼食は入居者の他、デイサービス利用者（月～土）、配食サービス利用者（月～金）に提供している。
------------------	---

《研究前の状況と課題》 開設以来、入居者、デイ利用者、配食利用者に対し、定型的な食事サービスを行っていた。 一方、地域内において高齢化が進む中、従来の業務を引き続き行っていくだけの機能であれば良いのか？法人の基本理念である「地域社会に役立つ」にどう取り組むか？ケアハウスを利用している方だけではなく、なんらかの形で地域に居住する高齢者へも「食」を通じて支援すべきではないか、ということが調理会議で議題に上がり始めた。 また、調理業務の外部委託が主流となっていく中、直営だからこそできるサービスとは何か？を議論する中で、自前のほうが小回りが効くことから、柔軟かつ主体的に業務に取り組めることと、他のセクションの職員との連携や協働が取り組みやすいことに気がついた。	《研究の目標と期待する成果》 ① 地域住民にとって身近な施設となるべく、コミュニティセンター、団地自治会、児童館などの催し物に「食」を通じて参加し、施設の存在と機能を多くの世代に知ってもらう。 地域の一員になる中で、地域の方の気軽な相談相手や心のよりどころとなる。 ② 「食」という誰にとっても身近なかわりから、調理部門が地域の中に浸透していき、他のセクションの職員とチームとなって、本来の相談支援・地域生活支援の機能を発揮していく。 その連携や仕組みをつくっていく。
--	---

《具体的な取り組みの内容》

① 平成21年度

調理業務外の時間を利用し、地元の地域行事の種類・内容・時期・規模・不足しているであろう役割を、市報・地域便り・実地踏査によって調べ始めた。また、各地域の役員の方々にお話をうかがい、法人の方針「地域社会に役立つ」であることを伝えながら、今後の調理部門のかかわり方を探りPRもした。

② 平成22年度

各行事の主催団体から続々と依頼が入るようになる。例えば盆踊りの櫓組みなどの会場設営や、得意とする食物出店、後片付けなどと、地域の中の一員としていくつかの行事に取り組んだ。

③ 平成23年度

前年度の実績から、各催し物の集客力、客層、これまで当施設と関係のなかった高齢者層の把握などを行い、相談支援部門の在宅介護支援センターと協議を重ねた。その結果、今年度からは両部門が一体となって、地域の行事に取り組んでいくこととなった。「食」を通じての動きに総合相談機関としての顔が登場することで、日頃から「地域ケア会議」等を通じてつながりのあった、民生児童委員や、地域福祉委員の方々とも合流することとなった。

《取り組みの結果と評価》

目の前のお客様の食事をつくることだけだったことから、「食」を通じて地域へ展開していったことにより、調理部門の職員の視野を広げただけでなく、あらたな人たちや世代との出会いの中で、本来、当施設が保持する機能をPRし、在宅介護支援センターの関わりで、福祉のまちづくりにも一役任ていること実感した。

《まとめ》

調理場内でのみ勤務していた私たちでしたが、現在は自然と地域へ出向き、他職種・他職場との協働にも目が向けられるようになってきた。このことは、少し前では考えられなかった。調理職であっても、福祉職であっても、「餅屋は餅屋」を互いに活かすことで、活力のある組織を作り出し、地域へもその力が波及していくことをつかんだ。

《提案と発信》

一人ひとりが自分のミッションを理解し、専門性を活かし始めることで、ポテンシャルが向上し、その影響は知らず知らずのうちに、施設全体へと波及していくことがわかってきた。さらに自らのセクションの足元を見た時に、ルーチンワークがガラリと変わり、常により良い物を追求する、サービスの質を向上する姿勢へと、組織が変容していくのを感じとった。

【メモ欄】